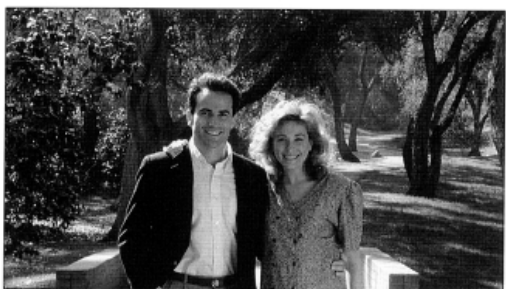
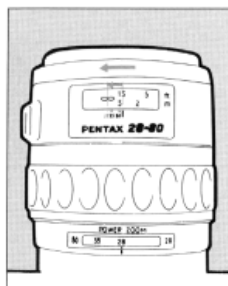
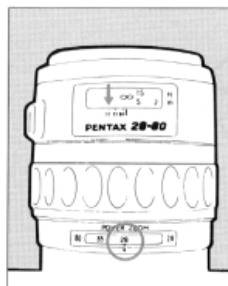


絞り F4



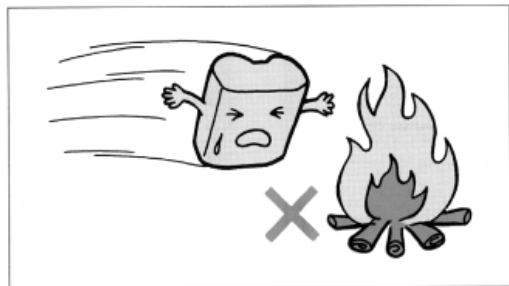
絞り F22



赤外線フィルムと「R2」や「O2」フィルターを使用し、赤外線写真を撮影するときは、一般撮影[可視光線]とピント位置が異なってくるため、ピントの補正が必要になります。オートフォーカスでは赤外線写真のピント補正ができません。一度普通にピントを合わせてから、フォーカスモードレバーを「MF」にし、距離リングを赤外線指標の分だけ左に回して補正します。

図のように、焦点距離目盛りが28のときは、距離目盛りを28の赤外線指標[赤線]までずらします。

- * 赤外線写真を撮影するときの露出は、フィルムの説明書を参考にしてください。自動露出では露出が合いませんから、マニュアル露出で撮影します。



- * カメラ用の電池は、リチウムの「2CR5」、デット用電池はリチウムの「CR2025」電池を使用します。
- * 電池は正しく使いましょう。誤った使い方は発熱・破裂・液漏れの恐れがあります。電池の⊕⊖を間違えないようご注意ください。
- * 電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。治療方法についてのお問い合わせ先。
筑波中毒110番 0298(52)9999 24時間体制
大阪中毒110番 06(451)9999 24時間体制
- * 電池を分解したり、充電したり、ショートしたり、火の中に入れると破裂の恐れがありますので絶対にしないでください。

- * 低温では、一時的に電池の性能が低下して容量[能力]不足になることがあります。常温に戻れば使用できます。
- * 海外旅行や寒冷地での撮影または、写真をたくさん撮られるときには、予備電池を用意しておくくと安心です。
- * カメラバッグなどに入れるとき、シャッターボタンが押されると電池が消耗します。電源スイッチを切っておくと安全です。
- * 内蔵ストロボを連続して使うと、カメラ用電池が多少温くなる場合がありますが、これは電池の特性で異常ではありません。

撮影可能フィルム本数およびバルブ時間

一般撮影		約120本
ストロボ撮影	50%使用時	約 40本
	100%使用時	約 20本
バルブ露出時間		約12時間

新品のリチウム「2CR5」電池で、当社試験条件による。
[24枚撮りフィルム、常温]

専用アクセサリ [別売]

Z-10には、各種専用アクセサリが用意されています。詳しくは、カタログ等をご覧ください。

●ケーブルスイッチF

Z-10・SFX_N・SF7等に使えるリリースコード。

●マグニファイヤーF_B

ファインダー中央部を拡大して見る、接写用アクセサリ。

●オートストロボAF330FTZ

ガイドナンバー33のAFスポットビーム内蔵オートズームストロボ。光量比制御モードや先幕・後幕シンクロ撮影などが可能。

●オートストロボAF240FT、AF400FTZ

AF240FTはガイドナンバー24、AF400FTZはガイドナンバー40のAFスポットビーム内蔵ズームストロボ。先幕・後幕シンクロ撮影などが可能。

●ホットシューアダプターF、延長コードF5P

AF240FT・AF330FTZ・AF400FTZをカメラから離してストロボ撮影するときのアダプターとコード。

●AFアダプター1.7X

F2.8より明るい、K_A・Kマウントレンズでオートフォーカス撮影するためのアダプター。

●マクロストロボAF140C

ガイドナンバー14の接写用ストロボ。

アクセサリの注意

- 「オートベローズA」はダブルリリースが使用できません。また、縦位置撮影のときは、カメラのグリップ側を上にご覧ください。
- 「PENTAX-F*300mmF4.5ED [IF]」レンズの三脚座を使用してカメラを縦位置にすると、カメラのグリップ側を上にとすると、レンズのロックネジがカメラに当たるため、グリップ側を下にするか、レンズの三脚取り付け座を外して、三脚の雲台を縦位置にしてご使用ください。
- 「645レンズ用アダプターK」をボディに着脱する際、アダプターの固定ネジの位置によってはボディに当たる場合がありますので、ご注意ください。当たる場合は、固定ネジの位置を変えてから行ってください。
- 「PENTAX-Mレフ2000mmF13.5」レンズをボディに着脱する際、レンズの縦横変換ロックネジの位置によってはボディに当たる場合がありますので、ご注意ください。当たる場合は、ロックネジの位置を変えてから行ってください。
- 「オートストロボAF280T・AF200T・AF200SA」をカメラのホットシューに取り付けて使用する場合、カメラの黒ボタン  の操作性が悪くなります。

61

24

こんなときは?

修理を依頼される前にもう一度、次の点をお調べください

症状	原因	処置	参照ページ
シャッターが切れない。	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れてください。	7ページ
	バッテリー警告  が出ている。	電池を交換してください。	6ページ
	電池が逆に入っている。	電池を正しく入れてください。	6ページ
	セルフタイマーになっている。	セルフタイマーを解除してください。	30ページ
	内蔵ストロボが充電中である。	充電されるまで待ってください。	22ページ
表示パネルに表示が出ない。	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れてください。	7ページ
	電池が入っていない。	電池を入れてください。	6ページ
	電池が逆に入っている。	電池を正しく入れてください。	6ページ
	電池が完全に消耗している。	電池を交換してください。	6ページ
ピントが合わない。	ピントを合わせたい物 [被写体] に AF フレーム  が合っていない。	被写体を AF フレーム  に入れて撮影してください。	18ページ
	被写体に近づきすぎている。	被写体から離れてください。	18ページ
	ズームレンズが、マクロになっている。	マクロを解除するかカメラの位置を前後してみてください。	レンズ説明書参照
	 [MF] [マニュアルフォーカス] になっている。	 [AF] [オートフォーカス] にしてください。	17ページ
	オートフォーカスの苦手な被写体。	フォーカスロックを使うか、マウント部分でのピント合わせをしてください。	32ページ 57ページ
ファインダー内に表示中の LED が点滅する。	電池が消耗している。	電池を交換してください。	6ページ
ファインダー内の  が点滅する。	撮影する距離が近すぎたり、オートフォーカスの苦手な被写体などのためピント合わせができない場合。	フォーカスロックを使うか、マウント部分でのピント合わせをご利用ください。	32ページ 57ページ

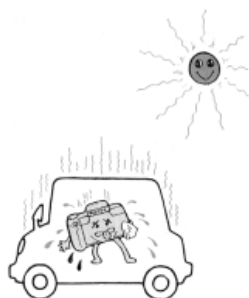
症状	原因	処置	参照ページ
内蔵ストロボが充電しない。	電池が消耗している。	電池を交換してください。	6ページ
プログラム自動露出で、ファインダー内の  が点滅する。	被写体が暗いときや、逆光撮影のとき。	ストロボの使用をお勧めします。	22ページ
ファインダー内の  ・  ・  ・P が点滅する。	プログラム、マニュアル露出のとき被写体が明るすぎるか暗すぎる。あるいは、マニュアル露出のとき、絞りの選択が不適切な場合。	被写体が明るすぎるか暗すぎるときは、NDフィルターやストロボをご使用ください。マニュアル露出のときの絞り選択不適切のときは、絞りを調節してください。	45ページ
ズームクリップモードにセットできない。	レンズがマニュアルズームになっている。 レンズのオートズームスイッチが  になっている。	レンズのパワーズームリングを前側に出して  にする。 レンズのオートズームスイッチを  にする。	33ページ
イメージサイズ指定モードにセットできない。	カメラ側のフォーカスレバーが  [マニュアルフォーカス] になっている。 レンズがマニュアルズームになっている。 レンズのオートズームスイッチが  になっている。	カメラ側のフォーカスレバーをAF [オートフォーカス] にする。 レンズのパワーズームリングを前側に出して  にする。 レンズのオートズームスイッチを  にする。	17ページ 33ページ
パワーズームが動かない。	レンズがマニュアルズームになっている。 内蔵ストロボが充電中である。	レンズのパワーズームリングを前側に出して  にする。 充電されるまで待ってください。	26ページ 22ページ 26ページ
撮影のときズームが勝手に作動する。	イメージサイズ指定モードになっている。	イメージサイズ指定モードを解除する。	33ページ

25

取り扱い上の注意

カメラは精密機械です。取り扱いには充分ご注意ください。

- * 落としたり、固いものにぶつけないようにしてください。もしも強いショックや圧力を与えた場合は点検を受けてください。
- * レンズやファインダー窓のホコリはブローで吹き飛ばし、きれいなレンズブラシで取り去ってください。
- * 高温多湿の所へ保管したり、長時間放置することは避けてください。特に車の中は高温になることがありますのでご注意ください。



- * カメラの使用温度範囲は50℃～-10℃です。
- * 寒い外から急に暖かい部屋へ持ち込むと、カメラの内外に水滴を生じます。このような環境では、カメラをバッグやビニール袋に入れて、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから、取り出してください。
- * 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- * ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入ると、故障の原因になりますからご注意ください。保証期間中でも有料修理になる場合があります。雨や水滴などが付いたときは、良く拭いて乾かしてください。
- * シャッター幕やミラーには、手を触れないでください。

- * 一般に、電気系のトラブルは接点部の汚れやゴミが原因になる場合が多いものです。もし、電気系の不具合と思われる現象が出たときは、電池の接点や各部の接点に手油などの汚れ、塩分や特殊ガスなどによる腐食、あるいはゴミなどが付いていないかチェックしてみてください。
- * サービスサイズのカラープリントでは画面周辺でフィルムに写っていたものが切られてしまうことがあります。構図を決めるときに少し余裕を取っておくと安心です。
- * 水没品は修理不可能の場合が多くなります。当社のサービス窓口にご相談ください。
- * 高性能を保つため、1～2年毎に定期点検をお勧めします。長期間使用しなかったときや、大切な撮影の前には、点検や試し撮りをされるようにしてください。

LCD [液晶] 用バックアップ回路について
撮影途中のフィルムがカメラに入っているとき、電池交換のために電池を抜いても、撮影枚数とフィルム感度はカメラに記憶されています。

LCD [液晶] 表示について

- * 約60℃の高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- * 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもあります。これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。

型式	TTLストロボ内蔵 TTL AE・AF35mm一眼レフカメラ
画面サイズ	24×36mm
使用フィルム	35mmフィルム [J135パトローネ入り] 35mmDXフィルム=ISO25～5000 DXでないフィルムはISO100固定
露出モード	プログラム自動露出、マニュアル露出
シャッター	電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター オートシャッター1/2000秒～30秒 [無段階] [ISO100 50mm F1.4では1/500秒～1秒] マニュアルシャッター1/2000秒～1秒、バルブ 電磁リリース、電源スイッチ切りでシャッターロック
レンズマウント	ペンタックスバヨネットK _{AF2} マウント [AFカブラー、レンズ情報接点、パワーズーム用電源ピン付Kマウント]
使用レンズ	K _{AF2} マウントレンズ、K _{AF} マウントレンズK _A およびKマウントレンズ [AFアダプター使用でAF可能]
オートフォーカス機構	TTL位相差検出式、オートフォーカス作動輝度範囲Ev1～18 [ISO100] [F1.4レンズ付]、フォーカスロック可能、フォーカスモード [オート、マニュアルの2種]
パワーズーム	FAズームレンズとの組み合わせにより、3速パワーズーム・イメージサイズ指定・ズームクリップが使用可能
ファインダー	ペンダミラーファインダー、アスフェリックマイクロマットフォーカシングスクリーン 視野率=91%、倍率=0.77X [50mm・∞]、視度=-1D [ディオプトリ]
ファインダー内LED表示	フォーカス表示 [F I] =フォーカスインジケーション [C] 合焦表示 [緑ランプ点灯] 前ピン・後ピンおよび合焦不能表示 [緑ランプ点滅]、プログラム自動露出 = [P] 表示 測光連動範囲外は [P] 表示点滅 露出補正表示は [+/-] 点灯、マニュアル露出 = [+/-] 点灯、[+] 表示 [+] は露出オーバー [O] は適正露出 [] は露出アンダー、測光連動範囲外は [+/-] 点滅、[] 点滅、[] 点滅 = ストロボ充電完了表示、[] 点滅 = ストロボお勤め表示または不適切レンズ警告
LCD表示パネル	プログラム自動露出 = [P] 表示、マニュアル露出 = [M] シャッター速度2000～1/[] 表示、オートフォーカス = [AF] 表示、マニュアルフォーカス = [MF] 表示、電池消耗 = [] 表示 [点滅時シャッターロック]、露出補正 = -3.0～+3.0/[] 表示、セルフタイマー = [] 表示、フィルム走行・巻き取り = [] 表示、フィルムカウンター = 0～39表示、ズームクリップ = [] 表示 点滅時セット可能・完了時点灯、イメージサイズ指定 = [] 表示、[] 点滅 = ストロボ充電完了表示、[] 点滅 = ストロボお勤め表示または不適切レンズ警告
セルフタイマー	電子制御式、始動はシャッターボタン、作動時間約12秒 [音]、作動後解除可能

ミラー	クイックリターンミラー、オートフォーカス用第2ミラー付
フィルム入れ	オートローディング、裏ぶた閉じにより1枚目まで自動巻き上げ、裏ぶたにフィルム情報窓付
巻き上げ・巻き戻し	内蔵モーターによる自動巻き上げ・巻き戻し式、フィルム終了時自動巻き戻し・巻き戻し終了時自動停止、巻き戻し時間=24枚撮りフィルムで約15秒、フィルム走行・巻き戻し完了をLCD表示、途中巻き戻しボタンによる途中巻き戻し可能
露出計・測光範囲	TTL開放6分割測光、測光範囲 50mm F1.4 ISO100 EV1~21マニュアル露出時スポット測光
露出補正	±3EV [0.5EVごとに設定可能]
ストロボ	並列制御TTLストロボ内蔵、ガイドナンバー12 [ISO100/m] 35mmレンズをカバー、同調速度=1/100秒へ自動切り替え、日中シンクロ・マニュアルでの低速シンクロ可能
シンクロ	ホットシュー [X接点専用ストロボ接点付] 専用ストロボ連動
電源	6Vリチウムバック電池 [2CR5] 1個
電池消耗警告	バッテリーマーク点灯 [点滅時シャッターロック] およびファインダー内LED点滅表示
裏ぶた	交換可能 [データバックFc]
大きさ・重さ	146.0 [幅]×92.5 [高]×70.0 [厚] mm 510g [ボディのみ、電池別]
付属品	ホットシューカバーFc、レリーズソケットキャップF、カメラストラップFc、アイカップFc、ファインダーキャップ
クオーツデット [デット仕様]	
デット機構	クオーツ制御、液晶表示式、デジタル時計、オートカレンダー [西暦2019年まで、閏年は自動修正]
データの写し込み方法	7セグメント6桁LCD [液晶]、フィルム背面より写し込み
データ表示	データ表示窓にLCD [液晶] 表示、表示写し込み時 [] が2~3秒間点滅
データの種類	①年・月・日、②日・時・分、③ [データ写し込み無し]、④月・日・年、⑤日・月・年 年=87~19 [1987~2019年]、月=1~12、日=1~31、時=0~23、分=00~59
使用フィルム感度	ISO25~1600 [感度自動セット]
デット電源	CR2025 [リチウム電池]
発光回数	約5000回

お問い合わせは次の各サービス窓口へ

■営業時間：●ペンタックスフォーラム(新宿)

午前10時30分~午後6時30分
(原則として年末年始を除き年中無休)

- ペンタックスフォーラム・大塚
午前10時~午後6時(日・祝日休業)
- 各サービスセンター
午前9時~午後5時(土・日・祝日休業)
- ペンタックスギャラリー
午前10時~午後5時(日・祝日休業)



ペンタックスフォーラム (シールーム・写真展・修理受付)

☎03(3348)2941(代)
〒163-04
東京都新宿区西新宿2丁目1番1号
新宿三井ビル1階(私書箱240号)



東京サービスセンター

☎03(3571)5621(代)
〒104
東京都中央区銀座西8丁目10番地



札幌サービスセンター

☎011(241)8742(代)
〒060
札幌市中央区
大通西8丁目1番地1号
朝日生命札幌大通ビル4階



仙台サービスセンター

☎022(261)5681(代)
〒980
仙台市青葉区中央2丁目2番10号
仙都会館4階



新潟サービスセンター

☎025(224)8391(代)
〒951
新潟市本町通七番町1153番地
新潟本町通ビル



横浜サービスセンター

☎045(681)8771(代)
〒231
横浜市中区不老町1丁目6番9号
横浜エクセレントビル3階



静岡サービスセンター

☎054(255)6308(代)
〒420
静岡市市馬場24番2号
住友建設ビル5階



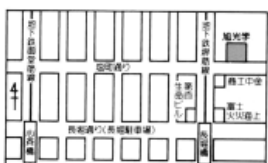
名古屋サービスセンター

☎052(962)5331(代)
〒461
名古屋市中区泉1丁目19番8号



金沢サービスセンター

☎0762(22)0501(代)
〒920
金沢市尾張町2丁目8番23号
太陽生命ビル8階



大阪サービスセンター

☎06(271)7998(代) (修理受付)
〒542
大阪市中央区南船場1丁目17番9号
ペンタックスフォーラム・大阪
(ショールーム・写真展)
☎06(271)3960



広島サービスセンター

☎082(248)4321(代)
〒730
広島市中区大手町3丁目7番2号
大東京火災広島ビル8階



福岡サービスセンター

☎092(281)6868(代)
〒810
福岡市博多区中洲中島町3番8号



消費者相談室

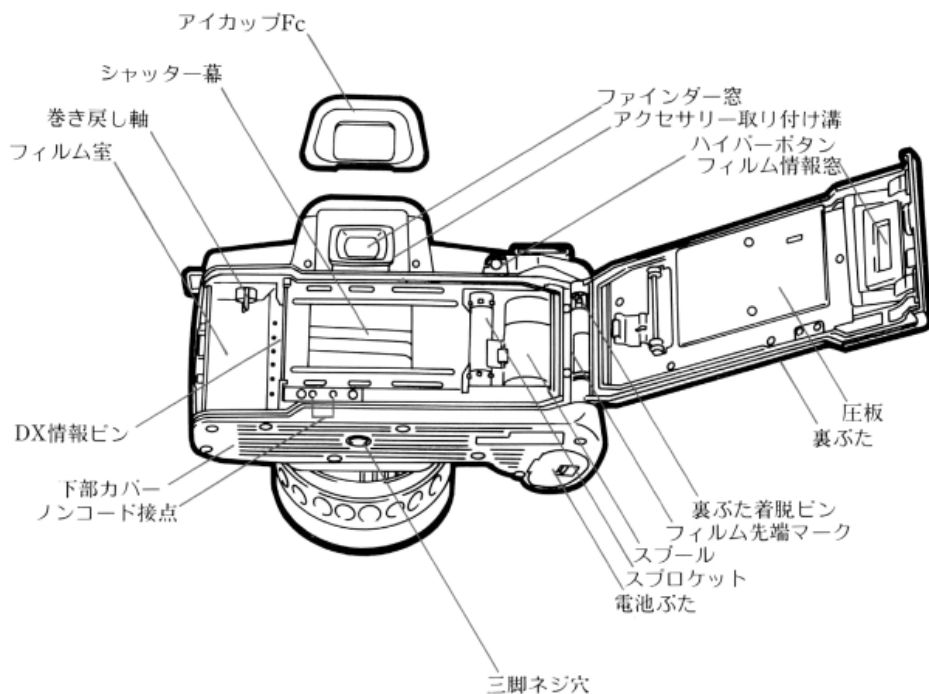
☎03(3572)6479
〒104
東京都中央区銀座西8丁目10番地



ペンタックスギャラリー (カメラ博物館)

☎03(3401)2186
ファミリー (写真クラブ)
☎03(3401)2187
〒106
東京都港区西麻布3丁目21番20号

69



70

●旭光学のサービス窓口では、ペンタックスカメラをはじめ、各種交換レンズやアクセサリが展示され、手にとってご覧になれます。また、種種のご相談にも応じておりますので、お気軽にお立ち寄りください。
●他社製品〔レンズ、アクセサリ等〕との組み合わせ使用に起因する故障については有料となります。

1. 修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口へ直接お持ちください。郵送の場合は、カメラの化粧箱などを利用して、輸送中の衝撃に耐えるようしっかりと包装し、書留小包便でお送りください。なお、不良見本のフィルムやプリント、また、故障内容は正確にメモして添付していただけると原因分析に役立ちます。
2. 保証期間中〔ご購入後1年間〕は保証書〔販売店印、および購入年月日が記入されているもの〕をご提示ください。
保証書がないと、保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用は、お客様にご負担願います。

3. 保証期間以後の修理は原則として有料です。
なお運賃諸掛りはお客様にご負担願います。
4. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後、10年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間以後であっても、修理可能な場合もありますから、当社の各サービス窓口にお問い合わせください。
5. 外国旅行をされる場合、各サービス窓口ではお手持ちの保証書と交換に、国際保証書を発行いたします。〔保証期間中のみ有効〕なお、特定の旅行先でのサービス窓口の住所については、お問い合わせください。

71



旭光学工業株式会社

〒174 東京都板橋区前野町2丁目36番9号

ペンタックス販売株式会社

〒100 東京都千代田区永田町1丁目11番1号